

令和3年度

事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園

令和3年度 祥水園 法人事業計画（案）

法人理念

「してやるのではなくさせていただくのです」（宗祖お言葉 18番）

法人経営指針

- ・共 生 我々は社会・地域・ご利用者と共生する喜びと感動を創作する
- ・貢 献 我々は誠実・努力・謙虚をモットーに絶えず自己研鑽に励み、
社会・地域に貢献する
- ・誇りと幸福 我々は仕事への誇りと幸福を追求し、働き甲斐のある職場作りを目指す

・近況報告

コロナ禍の中で、われわれの取り巻く環境が大きく様変わりをしていく中で、令和3年度に介護報酬単価見直しが行われる。

軽費老人ホーム以外の介護保険事業所すべて改定が行われることとなるが、特徴として、数年来、厚生労働省が唱えてきた方向性として「科学的介護」というアプローチの集大成及び強化ではないかと考える。エビデンスのある介護。評価ができる介護。モニタリングを実施し、継続的な改善を実践する介護。地域との密接な関係性。そして専門性をいかんなく発揮できる環境整備を行った施設への評価。

上記は、自法人が目指していた方向性と合致するため、大きな軌道修正の必要はないと考えるが、より細部にわたるしくみ作りを明確にしていく必要があり、各上長とも連携を深め、この介護報酬単価改正の流れに沿って、自法人で、できることを明確にして健全経営・経営安定を図っていくこととする。

重ねて、介護報酬単価改定によって地域住民の参加による防災計画を策定する必要があるため、委員会を立ちあげて、地域住民との連携を図っていく。当法人も地域への活動に積極的に参加していくこととする。

また、軽費の大規模修繕が終了したことから、今年度有料老人ホーム「星街」のOPENがまじかに迫ることとなる。地域の方々はもちろんのこと、コロナ禍において田舎暮らしを求める人々が急増する中で、健全経営を心掛け、地域の人々に喜んでいただける施設を作り上げていきたい。

公益事業については、特にコロナの影響で Miracle の会員数が大幅に減少した。しかし、

春に向けて会員数が再入会・新入会が増加しつつあり、よき方向に流れている。

今後はトレーニングメニューの見直しをかけて地域の人々・職員の健康維持に貢献していきたい。

また、職員の福利厚生施設として取り組んだ託児所「楽柿」は職員の子供預かりがないことからいったん閉鎖とする。

職員の質の向上の一環として、RX組青山幸広先生を再びお招きし、一年間講師として座学・現場介入をしていただく。新しい学びを深めていくよき機会としたい。

事業活動指針

- ① 法人健全経営
- ② 星街健全経営
- ③ 公益事業（FM五條・野原ダイニング・Miracle）健全経営
- ④ 繙続的な感染症対策
- ⑥ 職員の質の向上
- ⑦ 地域との継続的な連携

令和 3 年度

事業計画（案）

特別養護老人ホーム
水杜／水がたり

令和3年度 特別養護老人ホーム 水杜・水がたり事業計画（案）

水杜介護理念

私たちは、ご利用者の夢を諦めさせないことを誇りとし、自己研鑽に努めます。

水がたり介護理念

私たちは、今ある現状に満足せず、ご利用者の尊厳を守ることを使命とし、自己研鑽に努めます。

活動方針

令和2年度は新型コロナに振り回された一年であった。しかし、手洗い・うがい・消毒・換気と言われる基本的な感染予防対策を継続的に行う事により、例年流行しているインフルエンザやノロウイルスの感染が激減し、当園では発症者が0名であった。改めて基本の大切さを、身をもって学んだ。基本を大切に、継続した感染予防対策を講じていきたい。また、感染予防対策の観点から行事が中止になり、多様な行事の在り方を考える機会になった。これからは、ご家族も一緒に共有できる機会を探求していきたい。

福祉を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、令和3年度介護報酬改定が行われる。(1) 地域包括ケアシステムの推進、(2) 自立支援・重度化防止の推進、(3) 介護人材の確保・介護現場の革新、(4) 制度の安定性・持続可能性の確保の4つと、これらに加えて感染症や災害に対する対応力強化が求められる。また、災害・感染症対応の強化に向け、(1) 発生時への備えや事業継続に向けた取り組みを推進するために運営基準等も踏まえて考えられる方策、(2) 事業継続計画（BCP）の策定を進めるために考えられる方策、(3) 災害発生時や新型コロナ対応上の介護報酬の臨時的な取り扱いでICT活用など平時から取り扱う事として示された。今回の改定で算定可能な加算を見極め取得するための体制を見直す必要がある。ご利用者の生活の質を向上と事業所の底上げを行うためにも改定を良い機会と捉え整備していく。

また、地域との共存が不可欠であり、地域住民に防災協力を依頼するだけでなく、法人も地域の活動に参加する事で地域と密接な関係性を築いていきたい。

最後に、CHASEへの情報提供などが令和3年度介護報酬改定から始まり、多職種で連携する事が今以上に必要である。CHASEが始まり、国も多くの情報を収集する事で、根拠に基づいた厳しい次期改定を行う事が考えられ少しづつ次期（2024年）改定にも備えていく必要がある。

介護部門 品質目標

1. 感染症対策をはじめとする環境面・衛生面を改善する。
2. 内部研修を充実させ、リーダーの育成、また若手職員のスキルアップを目指す。
3. ご利用者の夢を叶える為に介護力を向上させ、専門職と連携し仕組みをつくる。

相談員・介護支援専門員部門 品質目標

1. 稼働率の維持・向上を図る。
2. 各専門資格保有人材確保。SNS 等を用いて情報発信し質の高い人材確保に努める。
3. 情勢把握を隨時行い、各専門職と共有しシステム構築する。

事務部門 品質目標

1. 財務規律の強化
2. 人材育成と多能工化

管理栄養士部門 品質目標

1. 栄養ケアマネジメント等の書式を全てほのぼのに切り替える。
2. 写真入り食形態表を活用する。
お便りなどに同封し、ご家族にどのような食形態で提供しているか知っていただけ
るようにする。
3. ユニット会議に参加し、多職種協働でご利用者のニーズにこたえられるように努力
する。

看護・機能訓練部門 品質目標

1. 感染対策の必要性が理解でき、施設環境の感染対策を考えることができる。
2. 介護職と連携し、ご利用者の身体機能の維持・向上できるよう取り組んでいく。

歯科衛生士部門 品質目標

1. 誤嚥性肺炎を含む全身的な感染症の予防と免疫力向上。
2. ご利用者ごとに多職種協働の口腔ケアが提供できる体制を整備する。
3. 歯科医師と連携し介護職員に対する研修を実施する。

法人行事

4月	お花見	11月	認知症フォーラム、防災訓練
6月	防災訓練、オープンホーム	12月	紅白歌合戦
7月	笹祈願	1月	新年会お祈り会、書初め会、寒行
8月	夏祭り　盆供養	2月	節分祭　開園記念式典
9月	彼岸法要	3月	彼岸法要

水杜・水がたり年間行事

9月	長寿式	10月	運動会
11月	芋ほり・柿狩り	12月	忘年会　餅つき大会
2月	新年会	3月	お花見
・季節ごとにご利用者の外出支援を計画実施			

水杜・水がたり月間行事

- ・お祈り会　月1回
- ・感謝祭　月1回
- ・誕生会　各ユニットにて開催
- ・ポップレ移動販売（衣類）　必要時連絡
- ・外食支援の実施

クラブ・ボランティア活動

- ・踊りクラブ　月1回
- ・華クラブ　月1回
- ・ハンドベルクラブ　月1回
- ・特養喫茶　週1回
- ・書道クラブ　月1回
- ・フットマッサージボランティア　月1回
- ・絵本読み聞かせボランティア　調整次第での開催

教育訓練

(内　部)

- ・リーダー研修会　調整次第での開催
- ・次世代リーダー研修　調整次第での開催
- ・中途採用職員研修　調整次第での開催
- ・特養介護技術研修　月に2回以上（移乗・入浴など）

(外　部)

- ・ファーストステップ研修　1名参加予定
- ・ユニットリーダー研修　2名参加予定
- ・介護福祉士実務者研修　3名参加予定
- ・認知症実践者研修　1名参加予定
- ・老施協各種研修発表会　2名発表予定

令和 3 年度

事業計画（案）

軽費老人ホーム 祥水園

令和3年度 軽費老人ホーム祥水園事業計画（案）

1. 軽費品質方針

- (1)社会・地域・法人内部署と協調し、福祉サービス活動を支援する。
- (2)ご利用者が尊厳を持ち、自立した心豊かな生活ができるように支援する。
- (3)生活支援に関する技術と知識を高め、業務の継続的改善を行う。
- (4)リスクマネジメント行動指針に鑑み、ご利用者の安心・安全を支援する。

2. 軽費待遇方針

軽費老人ホームは設立より45年目を迎えた。今年度軽費は「今ある力を發揮」をテーマに取り組んでいく。今まで軽費ではご利用者の活躍の場を職員主導で考案し、ご利用者は参加、もしくは協力をしていただくという立場であった。その為ご利用者の力を十分に出しきることが難しかった。

ご利用者の力を十分に発揮していただく為には、ご利用者のフィールドでご利用者、職員が一体となり活躍の場を作っていく。その為にはご利用者の今ある能力だけではなく、今まで培ってきた経験や知識、知恵に焦点を当てる。そこからご利用者に輝いて頂けるフィールドを作っていく、何かをする側とされる側という垣根をなくした取り組みを行っていく。職員とご利用者が同じ目線で双方が今ある力を最大限に発揮していく。

法人で取り組んできた五條バスケットについても商品化が進んでおり、軽費のご利用所とともに協力し法人とも連携を深めていく。

全国でも稀な大規模修繕により、注目される施設となった。地域の中で軽費としてしての役割を確立いくため、新しくなった軽費を売り出していき、これまで培ってきた仕組みづくりなどの経験をもとに新しい価値を生み出していく。

3. リスクマネジメント方針による具体的な行動指針

- (1) 軽費の大規模修繕に伴う工事に関する事故・苦情、引っ越しの際の事故・苦情等、大規模修繕に伴って生じるリスクに対してのマネジメントを行う。
- (2) 地域にとの関わりの中で生じる事故や苦情に関するリスクに対してマネジメントを行う。
- (3) 外部からの持ち込みに関しての感染症対策や衛生管理体制に関してのリスクマネジメントを行う。

4. 各部署品質目標

1) 事務部門

相談員品質目標

品質目標

- 1.地域との連携を行う。
- 2.稼働率の高水準維持

事務員品質目標

品質目標

- 1.月次決算のタイムリーな情報共有
- 2.事務所内の継続的業務改善

2) 生活支援部門

生活支援員品質目標

品質目標

- 1.地域への貢献
- 2.クラブの充実

3) 医療部門

看護師品質管理

品質目標

- 1.ご利用者の健康意識を高める
- 2.職員の医療面の知識、技術の向上

4) 給食部門

栄養士品質目標

品質目標

1. 軽費建て替えに伴い仕組みづくり、厨房内・倉庫の整理整頓
2. 食事イベントの実施

5.令和3年度 役割分担表

1、ISO 担当

NO	ISO 担当	リーダー	サブ・メンバー
1	サーバイランス	①	②
2	校正	②	④
3	在庫管理	③	厨房職員、生活支援員
4	ISO 委員会	①	各部署 ISO メンバー

2、懇談会・健康教室

	懇談会	健康教室		懇談会	健康教室
4月	②	①	5月	⑥	⑤
6月	⑦	②	7月	⑧	⑥
8月	⑤	③	9月	⑥	⑦
10月	⑦	④	11月	⑧	⑧
12月	⑤	①	1月	⑥	⑤
2月	⑦	②	3月	⑧	⑥

3、年間計画（法人行事・軽費行事）

月	行事	リーダー	サブ
4月	生誕祭	①	⑧
	花見	①	生活支援員
5月	オープンカフェ月間	⑥	生活支援員
	地域貢献	②	⑦
6月	軽費防災訓練	①	⑧
7月	ちべん保育園来園	①	④
	きゅうり加持	⑤	④
8月	盆供養	②	⑤
	地蔵盆	⑧	⑤
	夏祭り	①	生活支援員
	夕戯れ会	⑥	⑧
9月	長寿式	①	⑧
	彼岸法要	⑤	⑥
10月	地域貢献	③	⑦
11月	認知症フォーラム	①	⑦
	法人防災訓練（夜間想定）	①	⑦
	ちべん保育園児来園(お弁当)	①	④
12月	忘年会	⑦	生活支援員
	紅白歌合戦	⑧	生活支援員
	餅つき	④	①
1月	寒行	①	⑤
	軽費書初め	⑥	⑧
2月	節分祭・豆まき	⑦	生活支援員
	開園記念式典	①	⑦
3月	彼岸法要	⑤	①

注：すべての法人・軽費行事の総括は施設長が行う。

※太字は法人行事

4、居室担当

ユニット名	生活支援員	ユニット名	生活支援員
宇智の丘	⑧	桔梗	⑦
ほととぎす	⑥	金剛	⑤

5、クラブ活動・DT・認知症予防

クラブ名	リーダー	サブ
カラオケ	⑦	⑧
書道	②	⑥
ハンドベル	⑤	⑧
カナリアクラブ	⑥	⑤

囲碁将棋	⑧	⑦
御詠歌	⑥	⑤
癒し会	⑤	-
御廟参拝	⑤	-
喫茶寿々	⑥	④
寺子屋	①	⑧
大人の塗り絵	③	-
互助会	③	-
お運び	担当生活支援員	
誕生会（毎月）	月当番支援員	
もの忘れ外来	②	
散髪美々	月当番支援員	

①櫻井施設長 ②水野看護師 ③磯田事務員 ④山本栄養士 ⑤小松主任支援員

⑥山崎支援員 ⑦森支援員 ⑧豊島支援員

令和 3 年度

事業計画（案）

グループホーム 慈泉庵

令和3年度 グループホーム慈泉庵事業計画

社会福祉法人 祥水園 法人理念

「してやるのではなく、させていただくのです。」

1. 慈泉庵 運営方針

- ①私たちは、ご利用者が住み慣れた地域で心豊かに過ごせるように支援します。
- ②私たちは、ご利用者が尊厳を保持し、生きがいを持った生活を支援します。
- ③私たちは、絶えず自己研鑽に励み、ご利用者に安心・安全な介護を提供します。

2. 処遇方針

グループホーム慈泉庵の大きなテーマとして『ただ1日を楽しむ』～「すごい！できるね」毎日の再発見と新発見～として掲げて活動を行う。認知症のご利用者が生活を行っているが、できることや可能性を持つご利用者がたくさん生活されている。その中で、ご利用者の力を最大限發揮し、「日常のやりたい！を形にできる」環境づくりや生きがい作りを令和2年度の取り組みの中で行ってきた。その中で、ご自身でできることを新たに気付かせてもらい、可能性を広げていけると感じている。得意な事や好きな事に時間を最大限使っていけるように慈泉庵の仕組みの改善も継続的に実施していく、『今』という時間を楽しみ、大切にしていけるような介護を目指していく。

また、新型コロナウイルスなどの感染症対策の強化は基本とし、昨年から継続してご利用者の力を地域に活かしていくことや楽しむ中の外出支援も継続的に実施していく、つながりを施設内だけではなく、地域とのつながりを持てるように支援していく。また、地域との防災に関する関係強化にも力を入れ、防災訓練時の協働や運営推進会議の際に意見交換を行っていく。

3.品質目標

品質目標

- ① 個別支援・個別活動の強化
- ② 地域貢献活動と地域資源の活用
- ③ 発信活動の強化・認知症カフェの開催

4. 年間計画（法人・慈泉庵行事）

4月	生誕祭、春祭り、お花見
5月	防災訓練、地域貢献
6月	バーベキュー
7月	きゅうり加持
8月	盆供養、夏祭り
9月	長寿式、彼岸法要
10月	運動会、地域貢献
11月	認知症フォーラム、防災訓練
12月	紅白歌合戦、忘年会、餅つき
1月	書初め、新年会、寒行
2月	開園記念式典、節分
3月	彼岸法要

※年2回の外泊旅行を実施予定 ⇒ 新型コロナウイルスの状況を見て実施

※誕生日会はご利用者の誕生日当日に実施予定

令和3年度

事業計画（案）

在宅支援事業所 水輪

ケアプランセンター 水面

ヘルパーステーション ひと雫

デイサービスセンター 漣

令和3年度 ケアプランセンター水面 事業計画

1. 近況報告

社会全体が、感染症が蔓延により「新しい生活様式」になった。その事により、ご利用者、ご家族、自分たち自身も戸惑いのある一年でした。今まで当たり前におこなっていた、訪問、会議、その他教室なども出来なくなり、ケアマネ業務の在り方にもいろいろな課題が出てきたように思われます。今まで園で様々な教室を開催し、地域の方に参加して頂く事によって祥水園の事を知って頂いていましたが、今後数年は感染症蔓延以前のような活動はできないように思われます。営業の仕方も考えて行かなければいけないと思います。SNSでの広報活動はもちろんの事、感染症がおさまった場合は、公民館活動時に介護相談会などをさせて頂いたり、デイサービスとともに、各病院などに営業が行けるよう、資料つくり（アイパッドなどを利用）をしたいと思います。また、介護報酬改定に伴い、算定基準の追加等がある為、対応できる仕組みづくり、ケアマネの資質向上を図っていきたいと思います。

2. 部門目標

①稼働率の維持・向上

- ご利用者、ご家族を待たず事のないスムーズな対応を目指します。
- SNS等の活用)、広範囲に広報し、顧客獲得を目指す。
アイパッドの活用し動画、写真を撮影『見える営業』をしていきたいと思います。

②食中毒防止

デイサービスの検食や内部監査に参加しチェックする。在宅で不衛生など衛生管理が困難なご利用者は、必要なサービスを調整する。

③感染症発症及び蔓延を予防

感染症に関する情報は、常に気を配り各部署との連携を図りながら感染症予防に努める。職員は感染予防の研修に参加し、知識、意識を高め、ご利用者、ご家族に伝達していく。

3. その他

特定事業所加算Ⅱ取得にあたり、

- 専ら指定介護支援提供の提供に当たる常勤の主任介護支援専門員を配置している事。

- ②専ら指定居宅介護支援の提供に当たる常勤の介護支援専門員を3名以上配置している事。
- ③利用者に関する情報又はサービス提供しに当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催する事。
- ④24時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保している事。
- ⑤当該指定居宅介護支援事業所における介護支援専門員に対し、計画的に研修を実施していること。
- ⑥地域包括支援センターから支援が困難な事例を紹介された場合においても、当該支援が困難な事例に係る者に指定居宅介護支援を提供している事。
- ⑦地域包括支援センター等が実施する事例検討会に参加している事。
- ⑧居宅介護支援費に係る運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けていない事。
- ⑨指定居宅介護支援事業所において指定居宅介護支援の提供を受ける利用者数が当該指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員1人当たり40名未満である事。
- ⑩介護支援専門員実務研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」等に協力又は協力体制を確保している事。
- ⑪他の法人が運営する指定居宅事業所と共同で事例検討会、研修会議等を実施している事。

の条件を満たし、漏れのない仕組みつくりを進めていきたいと思います。

令和3年度 デイサービスセンター漣 事業計画

1. 活動方針

令和2年度は稼働率の低迷が著しく、厳しい1年であった。コロナ禍の影響により、今までの当たり前が出来なくなり、その代わりに新しい仕組みもたくさんできた。新しい生活様式、新しいデイのルールが定着してきたこともあり、令和3年度は、日平均稼働率23人を目指し、稼働率を上げていくための取り組みを重点的に行っていきたいと思います。また、令和3年度介護報酬改正に伴い、算定基準の変更等に対応できる仕組みつくりを行い、自立支援を見据えたデイサービスを目指し、業務改善を行っていきたいと思います。さらに、災害対策において、防災訓練時には地域住民の参加が得られるよう連携に努めていきたいと思います。

2. 部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

3. 部署目標

①-1 ISO9001：2015による業務改善

- (1) サーベランス年1回（2月）
 - ・品質マネジメントシステムの構築を図る。
- (2) 内部監査ならびに委託先の監査・評価
 - ・定期的な内部監査を実施し、業務の見直し・改善を行うこととする。
 - ・業務委託先については監査を実施し、業務の評価・見直し・改善を行うこととする。

①-2 計画に基づいた営業活動の実施

- ・年間営業活動を作成し、営業努力目標の達成に向けて年間を通じた営業を行い、併せてSNSなど情報発信ツールを活用し幅広くデイでの取り組みを内外に向けてアピールし、稼働率の向上を目指す。また、リアルタイムでニーズ把握・情勢把握を行うために各部門・事業所への情報収集を行い、迅速に対応していく仕組みを構築していく。

<営業計画>

- 4月 チラシのポスティング
- 5月 おためしデイのチラシのポスティング
- 6月 おためしデイ・半日デイの案内を各事業所に配布
- 7月 お友達紹介キャンペーンのチラシをご利用者に配布
お盆対策会議開催
- 8月 病院を回るための資料作り
- 9月 チラシのポスティング
- 11月 お友達紹介キャンペーンのチラシをご利用者に配布
年末年始対策会議
- 10月～3月 病院へ営業に回る（下期で10件）

②定期的な衛生面の見直し（内部監査の実施）

- ・3か月ごとに衛生面の見直しとして、内部監査を実施する。対象としてフロア内のキッチンと野原ダイニングを交互に行うこととする。

③嘔吐物処理研修をはじめとする感染症対策の継続的な実施

- ・嘔吐物処理研修を定期的に実施し、迅速な対応手順の精査や感染症や食中毒による影響やリスクについての検討を行う。またフロア以外でのケースも想定されるため、各場面に応じた処理方法を実施、最小限のリスクで対応できるようにする。
- またパワーポイントを使用したご利用者向けの健康教室の実施。ご利用者への啓発を行いつつ感染症のリスク軽減の機会を図ることとする。

<各ケース想定嘔吐物処理研修計画>

- ・6月 緊急時対応研修：嘔吐処理（フロア編）
- ・9月 緊急時対応研修：嘔吐処理（車内編）
- ・1月 緊急時対応研修：嘔吐処理（入浴編）

<健康教室>

- 4月…コロナウィルス
- 6月…脱水症状
- 8月…食中毒
- 10月…インフルエンザ
- 12月…ノロウィルス
- 2月…口腔ケア

令和3年度 ヘルパーステーションひと雫 事業計画

・平成30年度は人件費率高騰の歯止め策としてサービス提供責任者自身がご利用者宅を訪問することで登録ヘルパーの稼働を最小限度に抑えてきましたが、年間を通して登録ヘルパーや職員の退職者があり、特に後半ではサービス提供責任者の訪問件数が激増しました。また扶養限度額の関係で抑えなければならない登録ヘルパーの訪問件数にも負担が及ぶような事態が再発していました。

平成30年12月より訪問件数を減らす方針で内プランのケアマネージャーにご協力を頂いて調整を進めております。

純利益の捻出の為にはサービス提供責任者が訪問を担い、登録ヘルパーの稼働を抑えていく方針は来年度も継続していきますが、サービス提供責任者が事務処理を集中して行えるように訪問スケジュール調整は行います。

訪問件数を減らすことにより一旦は縮小させる形にはなりますが、登録ヘルパー新規採用の見通しがつき次第、顧客獲得と稼働率の向上を目指す所存であります。

・サービス提供については、昨年度の活動にもとづいて自費サービス提供は継続します。またご利用者の心身状況の観察によりケアマネージャーへの情報提供を行い新たに必要なサービスに繋げるように連携を図っていきます。

部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

部署目標

- ① 現状の訪問介護員であるサービス提供責任者と登録ヘルパーの人数に適した訪問件数を維持し、毎日の訪問スケジュールが円滑に回るように訪問調整を行う。
- ② 調理前の手洗い徹底、マスクの着用、調理器具の消毒、食材のチェック、ご利用者の手指消毒にも適宜注意を促す。食中毒に関する研修実施。
- ③ 訪問前後の手洗いうがい、軽費ホーム訪問時における手洗いうがいを徹底する
訪問ご利用者の状態変化時は、ご家族、担当ケアマネ及びサービス事業所に報告し、感染症の蔓延や症状悪化を防止する。

令和 3 年度

事業計画（案）

有料老人ホーム星街

令和3年度 有料老人ホーム星街事業計画（案）

1. 品質方針（※軽費老人ホーム同様）

- (1)社会・地域・法人内部署と協調し、福祉サービス活動を支援する。
- (2)ご利用者が尊厳を持ち、自立した心豊かな生活ができるように支援する。
- (3)生活支援に関する技術と知識を高め、業務の継続的改善を行う。
- (4)リスクマネジメント行動指針に鑑み、ご利用者の安心・安全を支援する。

2. 処遇方針

軽費老人ホームの大規模修繕の仮設としてできた建物を有料老人ホーム星街として今年度のより運営を始める。今年度、年度初めには県との協議を進めている状況であり、現状では開設日が未定である。しかし、運営する中で今年度9月からの運営を目指し、営業活動や運営への仕組みづくりを進めていく。

運営する中で、単体での運営ではなく大きく野原東 Village として連携し、取り組みを実施していく。災害時やご利用者の非常時での連携や日常業務の中での仕組みについても、軽費と連携し、合同で作成を行っていく。

3. 品質目標

品質目標

- 1.年度内での満床運営
- 2.野原東 Village での連携・仕組みづくり

4. 年間計画

軽費老人ホームの行事に順じて、合同にて行う

令和3年度

事業計画（案）

公益事業

野原ダイニング

F M 五條

スポーツツジム Miracle

リラクゼーションスペース JADE

令和3年度公益事業部事業計画（案）

祥水園野原西 village の意義、「地域共生」を目的とし、地域住民の方やご利用者、ご利用者のご家族、職員が交流を生み、暮らしに活力を与え、生きがいや癒しを感じる事が出来るサービス提供に努める。法人内部署と連携、協調しながら公益事業の運営を行う。

【野原ダイニング】

目標

1. 新規顧客の確保・営業の仕組みづくり
2. HACCPに準じた衛生管理体制の構築
3. 行事食の充実化、SNSを活用した情報の発信

【FM五條】

目標

1. 防災・減災情報の発信、災害時の情報発信による地域貢献。
2. 黒字化（設備機械更新のための積立金の確保）
3. 安定した番組の放送、地域リスナーの拡大。

【スポーツジム Miracle】

目標

1. 新年度に向け、会員の再入会・新入会の正確・迅速な手続きの実施。
2. 健全運営、広報活動から事業収入予算の達成。
3. トレーニングメニューを見直し、地域の人々・職員の健康維持に貢献。

【リラクゼーションスペース JADE】

目標

1. ご利用者、職員の安寧の為健全な運営を行う。
2. ご利用者、職員利用の増加につなげ 黒字化

【託児所樂柿】

目標

1. 職員及び雇用者へ託児所完備施設をアピール。

令和 3 年度

事業計画（案）

収 益 事 業

五條バスケット

令和3年度五條バスケット事業部事業計画（案）

今年度、地域経済発展と活性化に関する事業を行い、

豊かな地域資源と観光資源を活用し、福祉の増進に寄与することなどを目的として、

収益事業「特産品の販路拡大に関する普及事業及び販売事業」を新設する。

初年度、ご利用者、地域住民の皆さんとの「だれかのために役立つ人生の実現」

五條の各企業の「地域貢献の夢」を詰めた「五條バスケット」の販売をスタートさせ、

販売チャネルの拡大、認知度の向上、運営の安定化を進めていく。